去の消息

:

明:

言者ムハンマドによって られた、 去の人々の について。そしてそれが彼の 言者性を示す、一つのであること。

目: 事イスラ ムの真 性を示す数々の とムハンマドの 言者性に する

目: 事 言者ムハンマド彼の 言者性の

より: IslamReligion.com

日09 Aug 2010

集日 09 Aug 2010

言者ムハンマドの真 性に する 力な の一つとして、不可知の世界に する彼の知 があります。つまり彼は 去の民や未来の予言において、正 な知 を示しました。いかに 明晰な者でも、人は なる知性に基づいて 去のことを十分な信 性をもって ることは出来ません。情 というものは、学ばれるものです。ムハンマドは一介の人 であり、彼の る民の中で暮らしていたわけでもありませんし、それらの文明からいかなる知 を受け いだわけでも、またそれを教 から ったわけでもありませんでした。神はこう仰ります:

-
*????????????

-
??,???
??? 12?102?

また、次のクルア ンの章句を熟 してみて下さい:

-
??
??
??
??
??
??
??,?????? 28?43?47?

これらの出来事は、ムハンマドによって られたモ ゼの　です。それらを直に目 していたか、またはそこにいたか、あるいはそれらのことを知っている者からそのことについて ったというのなら、彼は神の使徒ではないことになります。唯一の可能性、いや、唯一不可避の　は、ムハンマドが神ご自身によって教示された、ということなのです。

　の完全なる信 性を　するには、いくつかの事 を考 する必要があります。まずムハンマドは、いかなる宗教学者からも教わったことがありませんでした。当 マッカには、ユダヤ教やキリスト教の学者がいませんでしたし、また彼はアラビア 以外の言 を知りませんでした。また前述のことに加え、彼は み きすら出来ませんでした。マッカの住民であれ、ユダヤ教徒であれ、あるいはキリスト教徒であれ、自らムハンマドの教 であると主 する者などもいませんでした。もしムハンマドがどこかから情 を仕入れていたのなら、彼を信じていた彼自身の教友たちがそれを暴いたに いありません。

-
??
??,?????? 10?16?

不信仰者らはその　な反 にも わらず、 在と 去に する彼の知 がどういった情 源をもとにしているのか明 に 明することが出来ませんでした。彼と同 代の者たちの失 こそは、 の全ての 疑 者たちに する十分な　となったのです。

ユダヤ教徒とキリスト教徒の　の 正

以下に示すクルア ンの中の二つの例は、ユダヤ教とキリスト教信仰における改 の 正にするものです：

（1）ユダヤ教徒はアブラハムがユダヤ教徒であり、ユダヤの民の祖と主 していましたが、キリスト教徒もまた同 に彼を彼らの祖と なしていました。ロ マ カトリック教会はミサの に まれるロ マ典文という 体　において、アブラハムを「信仰における我らの父」と呼びます。神は彼らに回答して、こう仰います：

-
***????????????

に　っている、などと宣言することはなかったでしょう。というのも、そのような否定によって得られる利益はないからです。

次いで、もしイスラ ムがこれら二つの宗教から磔刑という神 を 借していたのなら、それは彼らとの大きな 点を除去することが出来たでしょう。しかしイスラ ムは真 をもたらしたのであり、ただ彼らをなだめるために神 の正当性を立 することはなかったのです。ユダヤ教徒らは新　 同 、クルア ンの中においても神の使徒たちを 史的に迫害してきたことが　されていますから、彼らのイエスの磔刑に する大きな 与は十分考えられることです。しかしクルア ンは、イエスに してこう力 く宣言しているのです:

????????????????????????????????????

では、もしムハンマドがユダヤ教やキリスト教の学者から学んだ情 に基づいてクルアンを 作したとしたら、一体どうしてこのようなことが言えるでしょうか? 彼は、彼らの教 を根底から覆すような 念をもたらしたというのに?

3番目に、イエスの磔刑を否定することは、それ自体以下に示すようなキリスト教の他の信仰をも否定することにつながります:

（1）イエスは人 の罪を った。

（2）全人は原罪を う。

（3）十字架の神 と、その畏敬。

（4）最 の 餐と 体　。

このように、 言者ムハンマド（彼に神ののご慈悲と祝福あれ）が 去の民に して った　はなる民　承などではなく、またユダヤ教徒やキリスト教徒の学者から学んだことでもありませんでした。そうではなく、それらは七 の天の高きから 造主によって彼に 示されたものなのです。

この 事のウェブアドレス:

https://www.islamreligion.com/jp/articles/526

著作　2006-2015 断　を禁じます。　2006 - 2023　IslamReligion.com. 断　を禁じます。